

川内原子力発電所第1号機
緊急時対策棟 連絡通路接続工事の概要について

九州電力株式会社
2021年4月14日

【枠囲みの範囲は、防護上の観点又は機密に係る事項であるため、公開できません。】

1. 概要 (1 / 5)

○川内原子力発電所の緊急時対策所については、現在運用中の代替緊急時対策所にて「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」への適合性を確保しているものの、更なる居住スペース拡張等のため、緊急時対策棟を新たに設置し緊急時対策所の機能を移行する工事（以下「緊急時対策棟設置工事」という。）を計画しており、平成29年2月8日付け原規規発第1702082号をもって発電用原子炉設置変更許可を受領している。

○緊急時対策棟設置工事は、以下のとおり2期に分け実施する計画としており、今回申請分の設計及び工事計画は、連絡通路接続工事（2期工事）に対する技術基準規則への適合性について示すものである。なお、指揮所設置工事（1期工事）については、令和元年6月3日付け原規規発第1906035号（川内1号機）及び令和元年6月3日付け原規規発第1906036号（川内2号機）をもって工事計画認可を受領し、現在建設工事中である。

建設 工事中	指揮所設置工事（1期工事） →指揮所を新たに設置し、緊急時対策所の機能を代替緊急時対策所から指揮所に移行する工事。
-----------	--

今回 申請分	<u>連絡通路接続工事（2期工事）</u> →現在運用中の代替緊急時対策所を休憩所として運用するために、指揮所と休憩所を接続する連絡通路を新たに設置することで、指揮所・休憩所・連絡通路を一体とし緊急時対策棟とする工事。
-----------	--

○本資料では、連絡通路接続工事（2期工事）に係る申請範囲、緊急時対策棟（連絡通路含む）の設置位置・構造、緊急時対策所機能及び主な設備、工事工程について説明する。

1. 概要 (2/5)

1. 機能及び主な設備

緊急時対策棟に設置する設備を示す。連絡通路接続工事(2期工事)に係る設工認手続き対象設備を下線で示す。また本設工認申請において一部の機器等については、設置(保管)場所等の名称の記載の適正化を実施する。(緊急時対策棟(指揮所) → 緊急時対策棟 等)

機 能		主な設備
緊急時対策所機能	居住性の確保	① 緊急時対策所遮蔽(緊急時対策所(緊急時対策棟内)) ② 緊急時対策所非常用空気浄化ファン※ ③ 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット ④ 空気ポンベ(緊急時対策所用)※ ⑤ エリアモニタ(緊急時対策所エリアモニタ、可搬型エリアモニタ) ⑥ 酸素濃度計、二酸化炭素濃度計
	電源の確保	⑦ 緊急時対策所用発電機車 ⑧ 緊急時対策所用発電機車用燃料油貯蔵タンク ⑨ 緊急時対策所用発電機車用給油ポンプ
	情報の把握、通信連絡	⑩ 緊急時運転パラメータ伝送システム(SPDS) ⑪ SPDSデータ表示装置 ⑫ 通信連絡設備(衛星携帯電話設備、統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備等)
	有毒ガスに対する防護措置	—
その他	火災防護	⑬ 火災防護設備

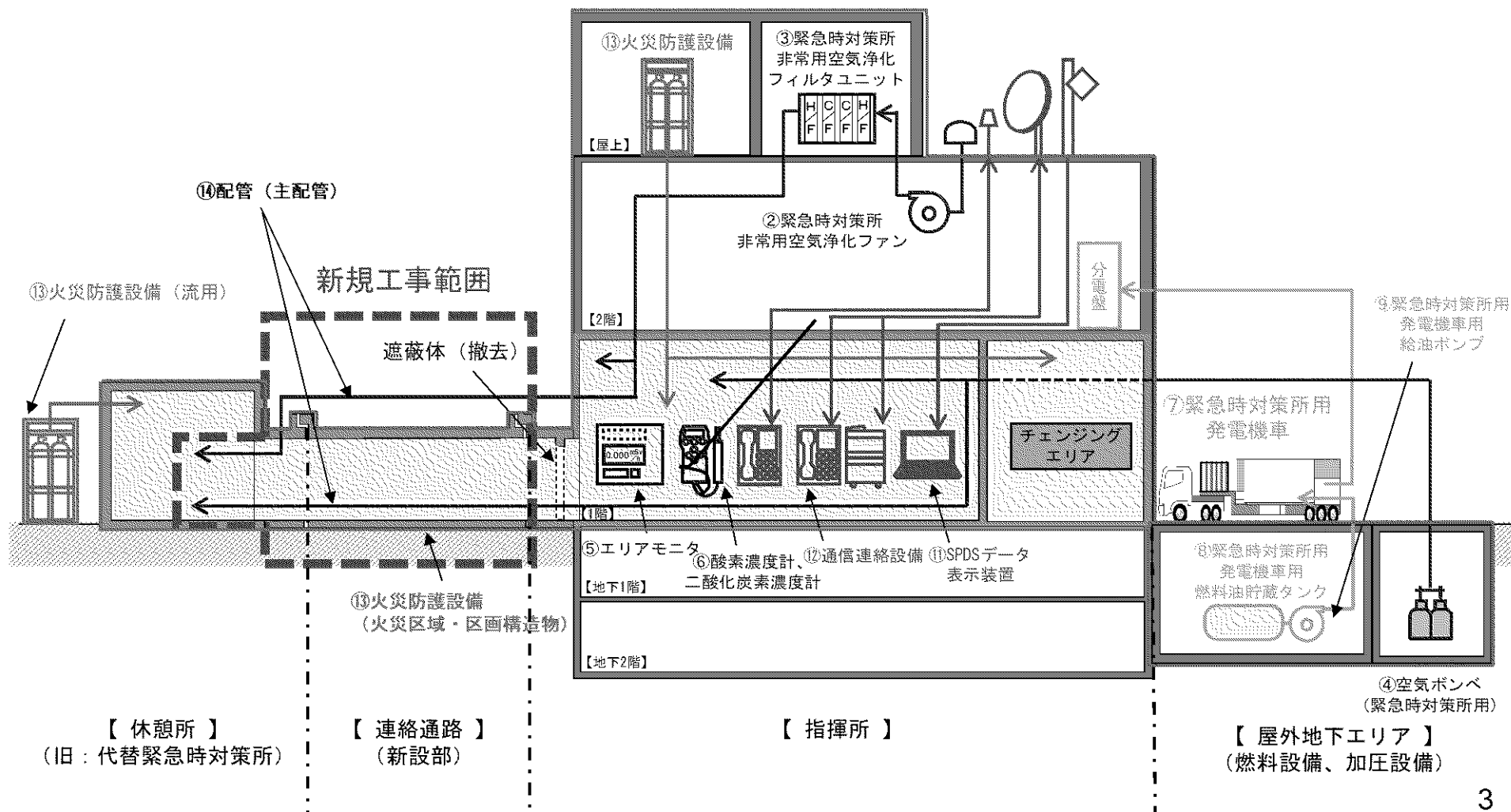
※ 指揮所から休憩所まで非常用空気浄化系及び加圧系の⑭ 配管(主配管)を延長する。

1. 概要 (3 / 5)

2. 概略図

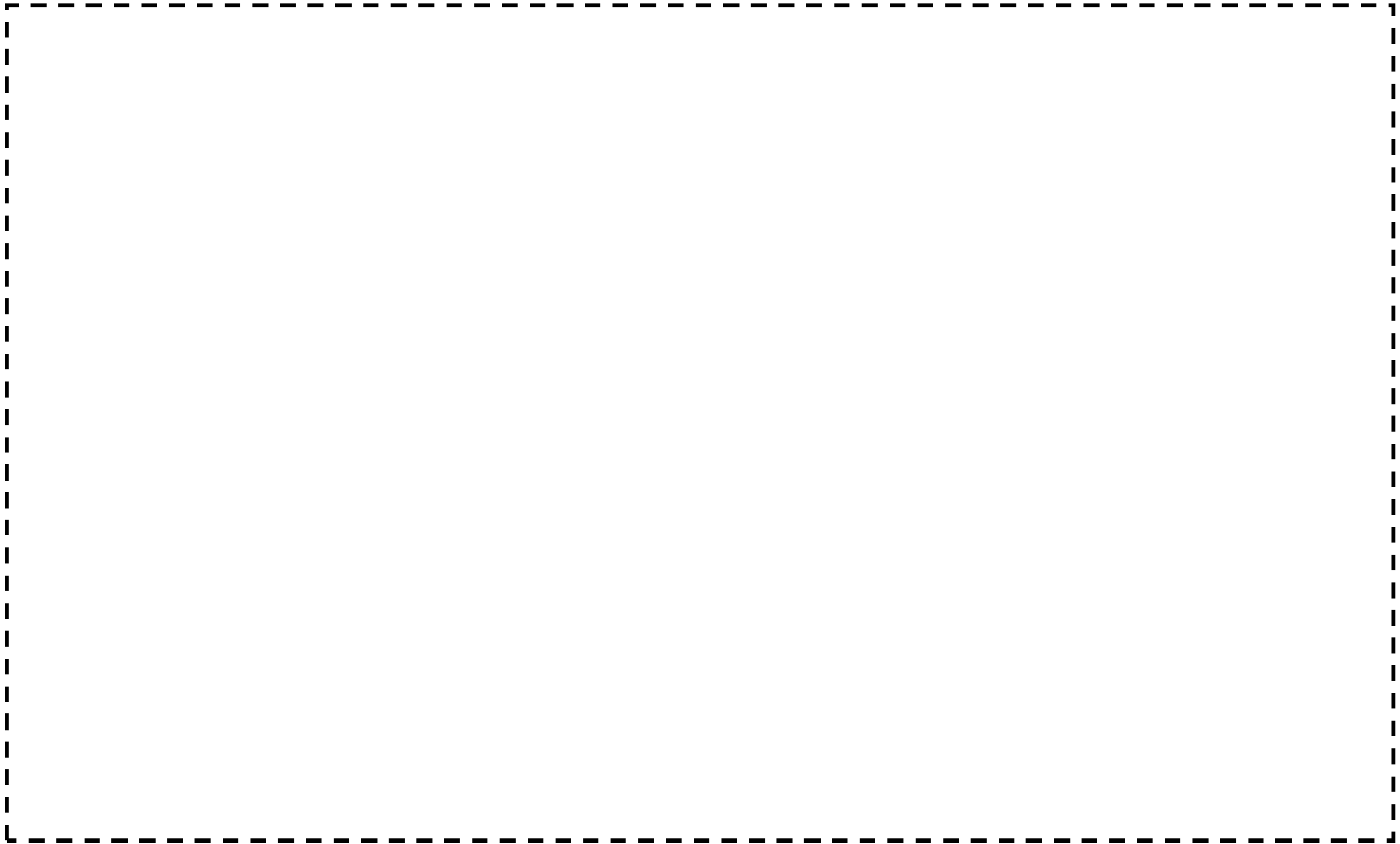
■ 本図の(No.) は前頁の主な設備を示す。

■ : ①緊急時対策所遮蔽(緊急時対策所(緊急時対策棟内))
→ 遮蔽の一部増設及び遮蔽体の撤去



1. 概要 (4 / 5)

3. 配置計画



<配置計画図>

1. 概要 (5 / 5)

4. 主要工程

年 度		2021	2022
主 要 工 程	指揮所設置 工事 (1期工事)	<p>【工認申請：2017.12、認可：2019.6】</p> <p>11月竣工（予定）</p> <p>▽</p> <p>工事 (2019.6より工事実施中)</p>	
	連絡通路接続 工事 (2期工事)	<p>4月申請</p> <p>▽</p> <p>設工認審査</p> <p>9月認可（希望）</p> <p>▽</p>	<p>9月竣工（予定）</p> <p>▽</p> <p>代替緊急時対策所の工事 (指揮所運用開始後に着工)</p> <p>※</p> <p>連絡通路の工事 (設工認認可後に着工)</p>
※指揮所及び代替緊対所の緊急時 対策所機能に係らない部分のみ工事			